

平成27年8月定例教育委員会会議録

日 時	平成27年8月14日（金） 午後1時30分～午後2時56分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 佐藤 正男 教育部参事 鈴木 健次 図書館館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 教育総務課課長代理（庶務担当） 鈴木 利昭 学校教育課長 片野 新治 教育総務課庶務班主任主事 水野 統之 教育指導課長兼 教育研究所長 柏木 荘一
傍聴者	なし
会議次第	<p style="text-align: center;">8 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</p> <p>日 時 平成27年8月14日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>（1）平成27年9月の開催行事等について</p> <p>（2）「みんなで描く人文字メッセージ」について</p> <p>（3）子どもの事件・事故等について</p> <p>（4）校務支援について</p> <p>（5）平成27年度（26年度事業）公民館運営点検・評価について</p> <p>（6）宮永岳彦記念美術館企画展「宮永岳彦 いのちの彩り」について</p> <p>（7）平成27年度「ふるさと講座」について</p> <p>（8）「T. S. エリオット～その人生と劇作品～」について</p> <p>（9）平成27年度市民大学について</p> <p>（10）「こども議会」について</p>

	<p>4 議 案</p> <p>(1) 議案第21号 平成26年度秦野市一般会計（教育費）決算について</p> <p>(2) 議案第22号 秦野市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について</p> <p>(3) 議案第23号 秦野市図書館協議会委員の委嘱について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、ただいまから8月の定例教育委員会会議を開催いたします。

お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、会議録の承認について、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認します。

教育長報告に入るわけですが、(3)の「子どもの事件・事故等について」は、非公開情報等が含まれているので、秘密会としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

それでは、3番の(3)は秘密会といたします。

それでは、「教育長報告及び提案」について、お願いします。

教育長

それでは、資料No.1をご覧いただきたいと思います。9月の開催行事等でございます。

まず、9月1日、定例記者会見がございます。

9月6日の日曜日ですが、市の総合防災訓練、今年は西中学校が中央会場ということになります。

資料を用意していますから後ほど説明をさせますが、8日から12日にかけて、小学校の修学旅行でございます。

同じく9月8日と29日はブックスタート、保健福祉センターで例月実施しております。

9月11日は9月定例教育委員会会議を予定しております。

9月12日の土曜日は中学校の体育祭でございます。

同じく9月12日の土曜日ですが、市制60周年・図書館開館30周年記念ということで、「T. S. エリオット～その人生と劇作品～」ということで、詳細は後ほど図書館長が説明しますが、白百合女子大学講師の相原先生、この方は市内在住の方だそうですが、講演を行っていただきます。

9月15日から27日、これも例年実施しているものですが、たばこ祭に合わせまして本町公民館で実施しております「秦野たばこ資料展」でございます。

それから、次のページに行きますと、9月17日から20日、第60回の市の文化祭の「絵手紙展」、文化会館の展示室・第1会議室で行います。

9月20日、日曜日、平成27年度の中学生英語スピーチコンテスト、文化会館で実施をいたします。所管課は市民自治振興課になります。

9月26日から10月24日までということで、平成27年度市民大学「専門学習塾」でございます。図書館の視聴覚室です。

9月30日から10月28日までは「絵本とおはなしの講座」、これも図書館で実施をいたします。

この下に書いてあります市議会の第3回定例会は、今年は市議選の年ですから開会が9月の半ば過ぎるんじゃないかと思いますが、例年よりもおくれる予定でございます。

私からは以上でございます。この後は、課長からそれぞれ説明をいたさせます。

教育総務課長

私からは、(2)の「『みんなで描く人文字メッセージ』について」をご説明します。資料2をご覧ください。

市制60周年を迎え、各種記念事業を実施してございます。教育委員会の記念事業の一つとしまして、全小学校、幼稚園、こども園等の子どもたちが人文字を作成して、このメモリアルイベントを盛り上げるということでございます。

名称につきましては、これは60周年記念事業のキャッチフレーズですけれども、「～夢・希望・未来へつなごう～市制60周年記念『みんなで描く人文字メッセージ』」という名称でございます。

対象は、先ほど申しましたように、市内の全小学校13校、幼稚園10園、こども園4園の児童・園児9,700名。

実施の時期は9月から11月中旬、小学校区ごとに日程を調整するというようなことで、実は、1校だけ、本町小は、本町幼稚園が創立100周年記念というようなことで、あわせて記念事業を行い、記念誌作成を年内にしたいということで、本町小だけ若干早目に、予定では9月2日ですけれども、その日に行います。そのほかの学校につきましては、10月の運動会の終了後に実施をするという日程で調整していくということでございます。

会場につきましては各小学校の校庭ということで、幼稚園は小

学校のほうに行って一緒に撮影するという事です。

実施の内容は、一言メッセージで、趣向を凝らしたオリジナルの人文字を各学校で作成して、それを航空写真という形で撮らせていただいて、記念冊子とクリアファイルを作成して配布をする予定でございます。

事業費は50万円ということでございます。

以上です。

それでは、「(4)校務支援について」ということで、資料No.3をご覧ください。

教職員の校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間、また教員同士が相互に授業研究等をし合う時間を確保することで、きめ細かな指導、教育の質の向上、学校経営の改善を図るために、校務支援ソフトを導入いたします。

2番、内容のところですがけれども、校務用の教職員のパソコン入れかえ、8月3日から20日までの期間ですがけれども、これに合わせて校務支援ソフトを導入するという事です。

この校務支援ソフトで一体何ができるかという内容ですがけれども、小学校においてはAからD、名簿情報管理、出欠席情報管理、成績処理、通知表作成、指導要録作成。中学校は、あわせて、ここに書いてあるF、高校進学に必要な調査書の作成ができる、このようなソフトを導入いたします。

このソフトの特徴ですがけれども、まず、業者が販売するソフトということで、システムの変更はできないということともう一つは、入力をして最終的に成績を決定したら、そのデータは変更できないということで、最終的には管理職の権限でデータを入力できるということです。

4番ですがけれども、導入に当たって、まずは、小学校では統一システムを入れるのは初めてということ、中学校においては、以前、教育研究所が中心となつてつくったソフトがあるんですがけれども、まずは、システムの導入に当たって各種研修を用意しております。各校の担当者が1つの会場に集まって、まずは基本的な研修。特に基礎データの入力、子どもの名前、それから住所等の基礎的なデータの入力から基本的な出力、こういうことができるということを一通りまずは各学校の代表者に研修していきたいと考えています。

裏面をご覧ください。イですがけれども、今後、教育研究所で委託するICT支援員が各校を訪問して、この操作について研修を行う。

ウについて、各校における研修なんですけれども、先ほどの集合研修に参加した担当者が各校で使い方について研修を行う。

その他、可能な限り、教職員対象の研修を設定していきたいと考えております。

(2) サポート体制ということで、このソフトの使い方、Webによるサポート、また電話によるサポート、それからICT支援員によるサポート、あと、エなんですけれども、保守管理会社によるサポート、さまざまなサポート体制を準備していきたいと考えております。

「(3) マニュアルについて」ということで、運用マニュアルを定めたり、また、ソフトとして電子マニュアルもつくっていききたいというふうに考えております。

「(4) 試験運用について」ということで、小学校では初めての導入ということで、本格実施は来年の4月からになります。それまでに、小学校で、今のところは希望校2校、中学校6校なんですけれども、1つは本格実施の前に実際に運用させてほしいという希望校がございます。その希望校が実際に基礎データ入力から出力までを試す中で、こういう問題点があるということが出てくるのではないかと思いますけれども、そのあたりも全校で情報共有してまいりたいというように考えています。

私からは、資料No.4～資料No.6までご説明します。

まず、資料No.4の「平成27年度公民館運営・事業に係る点検・評価について」ですが、これは25年度から11館全ての公民館を対象に実施していますが、お手元の参考資料No.2にあります点検・評価シートに基づきまして、「自己評価」、「内部評価」、「外部評価」を行うものです。

最初に、5月中旬から6月上旬にかけて各公民館で実施しました自己評価ですが、「公民館運営」、「まちづくり・学習の拠点」、「施設の管理」の3つの視点に立った全部で21項目について、それぞれ5段階で点数をつけて、総合評価をしています。その結果、評価4の「よくできた」が4館、評価3の「できた」が7館という結果になりました。

次に、6月中旬から7月上旬にかけて実施しました内部評価ですが、各公民館の自己評価を踏まえ、公民館運営協議会委員が館長とのヒアリングを行い、「公民館運営」、「まちづくり・学習の拠点」、「施設の利用」の3項目について評価しましたが、評価4が8館、評価3が3館という結果となりました。

最後に、外部評価ですが、7月28日に、これまでの自己評価

と内部評価の結果を参考に、社会教育委員の岡田副議長、原委員が、私と公民館長を代表した鶴巻・大根両館長と意見を交わした中で最終的な評価を行っていただきました。その結果、評価5が1館、評価4が9館、評価3が1館という結果となりました。

各公民館の評価とその評価理由は、お手元の参考資料1に記載したとおりですが、「大変よくできた」という評価5は西公民館となっています。また、外部評価での主な意見は資料No.4の裏面に記載のとおりで、点検・評価の結果については、今日の教育委員会会議、それから社会教育委員会会議も開催が10月以降になりますので、社会教育委員会会議の議長と相談して、文書をもって報告という形で進めていきたいと思えます。そして、市ホームページを通じて市民に公表し、公民館の運営、事業に関する地域住民や利用者の理解を深めていく考えです。いずれにいたしましても、点検・評価の結果を真摯に受けとめまして、各公民館にフィードバックし、今後の運営に反映していきたいと考えています。

続きまして、資料No.5をお開きいただきたいと思えます。「宮永岳彦記念美術館企画展について」ですが、本市出身の宮永画伯の業績を紹介する美術館では半年ごとに常設展示室の展示替えを行っています。今回は、8月12日から来年2月7日まで、「いのちの彩り」をタイトルに、さまざまな動物や植物が描かれている宮永作品を集めまして展示をしていきます。ちょうど今年は戦後70年の節目の年に当たります。宮永画伯も二度の兵役経験があり、戦後、自由に作品を描ける喜びを感じながら、動植物をモチーフに命の尊さを表現したものと考えられます。展示作品は、動植物が描かれたポスターや表紙原画を初め、宮永作品の代名詞である油彩美人画や「ぺんてるくれよん」の原画など、約70点を展示します。

また、美術館では、毎年、夏休み期間中に、子どもを対象に、創作する楽しさ、喜びを実感してもらう「美術館ワクワク探検」を開催しています。21回目となる今回は、8月15日に市民ギャラリーで秦野美術協会工芸部会の会員4人を講師に迎え、小学生18人と中学生2人が参加し、オリジナルの七宝作品を製作します。

続きまして、資料No.6、「ふるさと講座の開催について」ですが、この講座は、郷土を学び、その魅力を再発見するということをコンセプトに、我がまち秦野のことを学び、地域の魅力を再発見し、ここで得た知識を活用して地域で活躍する人材を育成することを目的としています。

図書館長

今回は、近代・現代史に焦点を当て、全7回シリーズで、今月29日を皮切りに、来年2月27日まで、月1回開催していきます。講師は、郷土史研究家を初め市の職員らが務めますが、内容的には、本市を発展させたたばこ産業を初め、横浜、函館に次ぎ、我が国3番目の近代的な水道施設で、全国初の陶管水道である曾屋水道、それから、秦野・二宮を走った軽便鉄道、そして、太平洋戦争末期に、当時の専売公社の倉庫で日本海軍が開発したジェットエンジンなどの歴史的なものから、市内出身の南画家、大津雲山、それから、丹沢の生き物などを学んでまいります。

受講生募集は7月末で締め切り、定員である40人の市民が参加します。男性が30人、女性が10人という内訳ですが、平均年齢は68歳となっています。秦野の歴史文化を改めて知っていただく機会という形で開催していきます。

図書館からは、次第の(8)、資料No.7、No.8について説明いたします。

最初に、資料No.7、秦野市制60周年・図書館開館30周年記念事業、「T. S. エリオット～その人生と劇作品～」では、9月12日の土曜日に、午後1時半から、図書館視聴覚室において、講師に相原雅子さんをお招きして開催をいたします。

定員は80名です。講師をご紹介します。相原雅子さんは、秦野市在住の方で、現在、白百合女子大学の講師で、英米文学を専門にしておられます。今回テーマとなっているT. S. エリオットにつきましては、もともとはアメリカで生まれてイギリスに帰化された詩人です。

英米文学の講座は、東海大学との提携で市民大学を開催しておりますが、講義としてないので、ぜひ参加いただければと思います。

続きまして、資料No.8、市制60周年・図書館開館30周年記念事業、秦野市・東海大学提携事業、「市民大学」についてご説明いたします。

「市民大学」につきましては、今年で、33回目を迎えます。今回は、講義1、講義2としまして、講義1は「幕末維新の動乱と長州藩－吉田松陰とその弟子たち－」というテーマで、東海大学文学部歴史学科の星野先生をお招きして、全3回の講座ということで、9月26日から10月17日まで、土曜日に開催します。

また、講義2は「萬葉集の世界14」をテーマに、東海大学文学部日本文学科の志水先生をお招きして、9月26日から10月24日までの5回のシリーズで開催をします。

教育指導課長

なお、「市民大学」の細かい内容につきましては資料の裏面をご覧ください。

続きまして、「(10)『こども議会』について」、資料No.9をご覧ください。「こども議会」の内容について、ご報告させていただきたいと思います。

1の「目的」につきましては、市制施行60周年記念行事として、秦野市からいじめをなくし、夢や希望を子どもたちが提言すること。それから、(2)子どもたちが行政や議会の仕組みを学び、市政への関心、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めるきっかけにしたいと思います。

日時につきましては、11月15日の午後開催ということで、午前中は、いじめを考える児童生徒委員会が開催されます。

4番の「参加児童・生徒」につきましては、今回は、先ほど申した秦野からいじめをなくす提言、宣言をするという意識のもと、いじめを考える児童生徒委員会の委員の44名がこれを兼ねる委員になるということでやっていきたいと思っております。

日程につきましては、11月15日、当日の「こども議会」なんですけれども、内容につきましては、現在、詳細を検討中であります。ただ、大きな流れとしましては、秦野市からいじめをなくすための宣言をいたしたいということと、もう一つは、子ども目線から、よりよいまちづくりのための質問や意見、要望に執行部が答えるという大きな流れを考えております。

「7 予算」、事業費につきましては14万6,000円ということで、また詳細が決まり次第ご報告させていただきたいと思います。

以上です。

望月委員長

それでは、「教育長報告及び提案」に関してですが、2つに分けましようか。(1)から(5)まで、ご質問のある方はどうぞお願いします。

飯田委員

人文字のメッセージについて聞きたいんですけど、各学校オリジナルの人文字を作成ということで、どんな文章を作成するかは各学校に一任ということですか。

教育総務課長

目的といいますか、もちろん、60周年記念事業ということ踏まえて、各学校にお任せをしています。ただ、本当の人文字だけではなくて、例えば、60周年記念事業というロゴみたいなものは可能です。学校によっては、夏休みの宿題の中でポスターのような形で募集する学校もございますし、先ほど言いました、まだ正式にはいただいていないんですが、9月2日に本町小がやり

飯田委員
教育総務課長

ますので、本町小は、自分の学校の校章と市の市章、そういったものを組み合わせたような形の人文字、絵文字をつくるというようなことで聞いています。

上小あたりだと人数の関係もありますね。

絵は、各学校で出してもらったものを、航空写真を撮る会社が色のジャケットだとかそういうものでやるそうですね。上小学校、ご承知のとおり、八十何人ですので、それは、それなりにプロがやってくれると聞いております。

望月委員長
内田委員

ほかにどうでしょうか。

資料No.3の「校務支援について」なのですが、4の「導入にあたって」の研修で、アのところで「集合研修」とあるんですけども、これは各学校から最初にどこかに集まっていたかと思うんですが、各学校から何名ぐらい来られるのでしょうか。

教育指導課長

ここでは情報担当者が基本的には1名来られます。これまで、校長または教頭への説明をいたしております。

内田委員

具体的な操作の仕方などの研修ではないかと思っはいるんですが、先生方の新しいソフトウェアに対してのなれというのがどの程度かわからないところがあるんですが、例えば、各学校から2人ずつぐらい出ていくと、各学校に戻ったときお互いに相談しながらできるのかなという感じもしまして、もしコストがかからないのであれば、2名ずつぐらい出ていただくといいのかなと思った次第です。ご検討いただけるのであれば。

望月委員長

校務支援については、議会なんかでもいつも学校職員の多忙化について取り上げられているんですが、これを導入することによって多忙化が少しでも解消できるということなんですか。

教育指導課長

そのとおりだと思います。やはり事務処理が各担任にかかる負担がかなり高いという現状で、一元化したシステムがあれば多忙化の解消につながると思います。

教育長

実は、こういう本格的な校務支援ソフト以外のもの、先ほど指導課長が説明しましたが、成績処理なんかは独自のものでやっていたんですね。ところが、その独自のものでやっていたものがどんどんそれぞれの学校でソフト自体が進化してしまっ。それによって統一的な形のものでなくなってしまうと、一昨年、ああいう成績処理のトラブルが出てしまった。一番心配したのは、校務支援ソフトを入れるとしても、今、内田先生がおっしゃったように、使う人がきちとなれていないと、ある市みたいに、ソフトを導入しました、始めたらトラブルが起きてしまった。これは、操作を熟知していないと、あるいは、秦野で起きたものは、

望月委員長
飯田委員

エクセルの表でカーソルを動かしたときに間違えて入れてしまったという単純なミスなんですね。ですから、そういうことを防止する意味でも、まず十分な研修をやって、そこにいる教員みんなが同じように使える段階にならないとトラブルが起きるよと。そういうことをきちんとしっかりとやってくれということを書いてあるんです。確かに、1名だけでやると失敗もあるんですが、まずは、理解をし、十分使えるようになって、広げていって、そういう人間を増やしていく。最終的に、実行の段階では学校の中の全員が使える状態にならないとまずいんじゃないか。そういう話をしているんです。一步間違えば全部違っちゃうという可能性が出てきてしまうわけですから。

ほかにどうでしょうか。

公民館の点検・評価についてなんですけど、意見というか私の感想なんですけど、私、西地区に住んでいまして、西公民館、堀川公民館をよく利用させていただくんですね。西公民館については、本当に、この資料にもあるとおり、展示物や資料がすごい丁寧に配置とか整理されていて、利用者の方は利用しやすいのかなと思っております。そしてまた、堀川公民館にもたまに行くんですけど、よく証明の書類なんかをとりまわりますけど、やっぱり、点検・評価の中にもあるように、結構、職員の対応がよくて、明るく対応していただけたというような感想を持っております。

望月委員長
内田委員

ほかにどうでしょうか。

公民館のところで、資料を1枚めくって、裏の「外部評価の主な意見」のところの黒ポツの下から2番目なんですけど、「各公民館で、ロビー活動への理解に差異がみられる」というんですけど、「ロビー活動」というのはどういうことをしているんですか。簡単に、字のごとく、ロビーをどう活用するかということですか。それとも、一般に言われているロビー活動なのか、その辺、もしそうだとすれば何を示しているのか。

生涯学習課長

「ロビー活動」という言葉より「ロビーワーク」というんでしょうか、要は、公民館はいろいろな事業を展開するんですが、公共スペースですから、ロビーに集まっている子どもたちとか市民の方に、公民館事業のことを理解するような取り組みとか、気軽にコミュニケーションを図って、公民館活動を理解してもらおうという、そういう意味合いなんです。

内田委員

ロビーをどう使っていくかということの意味にとっていいですね。そっちに近いということですね。わかりました。

生涯学習課長

そういう意味で、公民館長とロビーワークのあり方について、

内田委員
生涯学習課長

話したことがあるんですけど、捉え方がちょっと違った部分もあります。

表現をかえたほうがいいかもしれませんね。

すみません、今ご指摘がありましたので、「ロビーワーク」という言葉に変えるようにします。

望月委員長

わかりました。

ほかにどうですか。

私から、公運協の回数が公民館により偏りが見られるということなんですが、さすれば、年に何回くらい開いているのか。

それから、公民館の職員の研修というのは、社会教育法の中にもあるように、館長とか社会教育主事とかを対象にしたものがありますよね。それから、職員を対象にする。県公連が大会を開いているときに行ったりして、それを研修とするというふうな考え方で秦野もしているんじゃないかなという、私の記憶は曖昧なんですけど、そんな記憶があります。研修というのは、今どんなような方法なり内容か。この2つについて聞かせてください。

生涯学習課長

公民館運営協議会は、少ないところだと、年に1回というところがありました。ただ、通常は、年4回程度開催されていると認識しています。

それから、研修については、今、望月委員長がおっしゃられたように、基本的には県公連が進めている研修がありますので、そこに職員研修、館長研修などいろいろメニューはありますので、そちらへ参加しているような状況です。ここに書いてある部分は、要は、「先進的事例を探し」というふうに書いてありますが、県公連の研修は結構、先進的事例をもとにして研修しておりますので、そこに参加しますと、指摘された部分は解消できるのではないかと考えています。基本的には、秦野市独自の研修は、例えば、特定職員が採用されたときには、生涯学習課としてきちんと市民対応という研修はしていますが、基本的には、県公連のメニューを活用しているというのが現状です。

望月委員長

公民館運営審議会が公運審から公運協になって、たしか平成15年じゃないかと記憶しているんですけど、結局、審議会は館長の諮問機関みたいな働きをしていた。だけど、公民館は、地域住民の参画、意見を聞いて、そして、地域住民の意見を大切にしながら活動に励むのがいいだろうということで公民館運営協議会になったんじゃないかというふうに僕は認識しているんですけども、そういう一つの趣旨から考えると、やはり、公運協は、例えば、年何回か開いて、そして、地域住民の関係団体の意見を聞き

ながら、それを反映して、そして、地域とともに考え、活動を展開する、そういうふうな本来の趣旨を踏まえながらやっていくというのが僕はいんじゃないかなと思うんですね。それはいろいろと考え方もあると思うんですが、そんなような趣旨を生かしながらやっていくのがいいかなと考えています。

それから、評価の4、5をよく読んでみると、キーワードがあるんですね。1つは、西公民館は館長と職員のコミュニケーションが十分とれている。それから、あとを見たときの共通したことは、いわゆる地域がかかわっているということですね。婦人会がかかわる、自治会がかかわる、そういうような地域がかかわるところの評価は非常に高いですね。ですから、地域がかかわっているということは、それだけ地域の住民の意見が反映されている、つくり上げていく、そういう方向になっているんじゃないかなと思うんです。そういうことから考えても、公運協というのは地域の意見を取り入れた方が地域住民のニーズに応えられるのではないかなと、そういうような反省を持ったんですね。

ただ、私も、公民館が今大変だというのは承知しているんですね。まず、館によっては専任の職員がいなくて、館長さんも嘱託、ほかの人も嘱託で、これは非常に大変じゃないかなと。このことは十分承知しているんですけども、評価を、先ほど課長がおっしゃっているのは、ちょっと聞き間違えたかもしれないんですけども、これを社会教育委員会が独自で送って、それについての意見を求める、こういう理解でいいですか。

生涯学習課長

社会教育委員には、本来でしたら社会教育委員会を開いた中で報告し、意見をいただきますが、会議が、次回は10月開催になっていますので、議長と相談した中で、文書報告という形をとっています。

あともう一点、公運協は附属機関の見直しで、審議会という形から、協議会というか、諮問機関ではなく、一緒に運営していこうという組織になっています。私も公運協の会議には都合がつく限り出席していますが、そのときにいろいろな意見を交わした中で、公運協は、地域住民の声を反映できる一番重要な組織だと認識しています。公運協という組織を活用して、地域の意見を反映するような形で事業運営を進めていこうと考えています。委員長がおっしゃられたとおり、回数の問題も指摘されていますから、1回だった部分は、改善していくようにしていきます。

望月委員長

もう一つ、外部評価で、社会教育委員さん2名と、それから、佐藤課長がいらっしゃったんですね。それから、館長2名。これ

	<p>は各館を回ったんですか。それともここでヒアリングしたんですか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>社会教育委員のお二人は独自に公民館を回っていきまして、館長、特定職員にヒアリングをし、現場を見ていただき、その結果を踏まえて、外部評価をやっていただいたという形になっています。</p>
<p>望月委員長</p>	<p>私はそれをお聞きしたかったんですよ。我々、また教育指導課もそうですけれども、学校に訪問してやるのと、それから市のほうでやるのとでは全然違うんですね。例えば公民館に行くと、掲示とかそういうものがどういうふうに維持されているか、うまく管理されているか、あるいは、そこの職員の雰囲気、そういうものも敏感に感じ取ることができるんです。それはワンショットで行くことによって敏感に感じる部分があるので、ぜひ、そういうのは、今お聞きして安心したんですけれども、これからもそういう方法をとっていただくとよろしいかなと思いました。ありがとうございました。</p>
	<p>ほかにどうでしょうか。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>公民館について、ちょっと教えていただきたいんですが、図書室に3名というふうに職員が入っていますよね。職員数のところで、ほぼ公民館は2～3名というふうに書いてあるんですが、これは、開館しているときには図書室に専任の人がいらっしゃるということでもいいかどうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>常時1名配置という形のローテーションで行っています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>南が丘公民館は年間2万3千冊というようにありますが、これは公民館の中で一番多いというように理解してもよろしいですか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>蔵書数を把握していませんが、たしか数的には一番多いと思います。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>南が丘公民館って図書室も明るいので、小さい子でも使いやすいような造りなのかなと思って。学校に入れば学校の図書室とかがありますけれども、就学前の子どもたちの図書とかも充実させていったらいいのかなという気がしているんですね。それは、この前、新潟県長岡市に視察に行った際に街中の保育施設の中に、就学前の子どもたち相手の絵本とか大きな絵本とか、お子様連れで見えるお母様方対象のお料理の本だとか、そういった図書がすごく充実していたんですね。ですから、図書館、学校の図書室、公民館の図書室というふうに、特色を捉えて出していったほうがいいかなという気もするので、ぜひ、もし予算が出ましたら、就学前の子どもたち相手の図書のほうの充実も図っていただけたら</p>

生涯学習課長	<p>などと思います。</p> <p>公民館の図書室は、図書館の分館的機能を担い、利用者の読書活動や学習活動を支援していると思います。その中でいろいろな公民館の事業の中で図書室機能を活用した事業というのを展開していく必要性もあると考えていますし、就学前の部分も、図書館と相談した中で、検討していきたいと思います。</p>
望月委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p>
望月委員長	<p>—特になし—</p>
望月委員長	<p>それでは、ないようですので、(1)から(5)はこれで終わりにしまして、(6)から(10)まででいかがでしょうか。</p>
高橋委員	<p>図書館事業の資料No.7なんですけど、記念事業としてT. S. エリオットを取り上げられましたが、いきさつとかを教えてください。</p>
図書館長	<p>随分格調高いなと思って驚きましたので。</p>
図書館長	<p>今回、T. S. エリオットの講演会で講師に相原雅子さんをお呼びしたのは、一昨年、相原さんが、『晩年にみる米英作家の生き方』という本を出されまして、図書館として、地元の作家の方、</p>
図書館長	<p>地元の本を出された方の作品を、郷土資料として収集しています。相原先生とお話をする機会に、何かの機会があれば講演等をお願いできないか、今年が市制施行60周年ということで、依頼させていただきます。</p>
望月委員長	<p>エリオットはどうですか。懐かしいですね。</p>
高橋委員	<p>すごく懐かしいです。</p>
望月委員長	<p>こういうように地元の人にどんどんやってもらって活性化したらどうですかね。</p>
望月委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p>
望月委員長	<p>「市民大学」は、志水先生はよく来ていただいているんですが、</p>
図書館長	<p>星野先生も来ていただいているんですか。</p>
図書館長	<p>星野先生には今回もお願いしておりますが、以前、平成22年、24年の時にもお願いしています。それより以前にも、星野先生には、幕末をテーマにお願いをしております。</p>
望月委員長	<p>ほかにどうでしょうか。</p>
飯田委員	<p>「ふるさと講座」の平均年齢、受講生が68歳ということなんですけど、もしわかれば一番若い方はいくつぐらいでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>一番お若い方が男性で47歳。一番上は80歳の方です。</p>
望月委員長	<p>これは男が多い。女性は少ないんでしょう。公民館活動というのは女性が圧倒的に多いわけですね。男性のほうが少ないわけですね。40人は定員ですか。</p>
生涯学習課長	<p>定員は40人です。7月の終わりで締め切ったんですが、定員</p>

内田委員

を超えた申し込みがありました。

「ふるさと講座」についてなんですが、例えば、たばこ産業とか秦野の名水、あと例えばジェットエンジンの話とか、それぞれ担当の職員の方が先生になって話をされるわけですか。

生涯学習課長

講師には生涯学習課の学芸員が2人、それから地下水保全を担当する環境保全課の職員にお願いしました。

内田委員

さっき、高橋委員もお話しされていましたが、長岡に行ったときに、長岡市が例えばごみ焼却場だと、見学会の講師を申し込むと見学をさせてくれる。同じようなカテゴリーで、例えばジェットエンジン、こういう講座ができますよということをそのリストの中に入れておくと、例えば何とかの会で今度話を聞いてみようとか、あるいは学校単位でとか申し込めるような形にしておくと、例えば、職員の方、通常の業務に支障ない程度だと思うんですけども、講演を企画して、例えば、年1回だけじゃなくて、団体なんかで申し込んでいただいたときに職員の方が話ができるようなリストといいですか、そういうものもあってもいいのかなという感じがしたんですけど。

生涯学習課長

そういうリストはないんですが、秦野市の場合、広聴相談課が窓口になりまして、「市政ふれあいトーク」という取り組みがあります。各課の事業について、広く理解してもらうため、依頼があれば勉強会などに出席し、説明するもので生涯学習課でも依頼を受け、職員が講演等を行っています。

教育長

この櫛田和幸さんは、市役所の元職員です。郷土歴史研究家になっていますが、元市史編纂の担当職員。生涯学習課文化財担当の大倉君は、ジェットエンジンの研究を自分でやっていて、タウンでしたか。

生涯学習課長

神奈川新聞です。

教育長

神奈川新聞か。何かのきっかけでこのことに気がついて特集の記事が組まれたことがありました。谷君は、もともと秦野の地下水が汚染されたときに、その環境保全課の職員として従事していました。

内田委員

年1回の講座ではもったいないなという感じがして、ぜひ、いろんな方々に話を聞いていただけると。

教育長

出前とかで大分あちこちでしゃべってはいます。

望月委員長

こども議会についてですが、市では、保護者への周知はどのように考えているんですか。

教育指導課長

詳細については、今後、検討していきたいと思います。

望月委員長

ほかにありますか。

望月委員長

—特になし—

それでは、なかったら次に移りたいと思います。

議案に入りますが、本定例会には3件の議案が提出されています。「議案第21号 平成26年度秦野市一般会計（教育費）決算について」の説明をお願いいたします。

教育総務課長

私からは平成26年度秦野市一般会計（教育費）決算について説明をさせていただきます。

地方教育行政法の中で予算その他教育に関する議案を議会に提出する場合、作成時に教育委員会の意見を聴くという規定がございます。その規定に沿って、提出する議案について、市長に意見を申し述べる必要性が生じたために議決を求めるものでございます。

おめくりをいただきまして、26年度一般会計・教育費の歳入の総括表でございます。一番下に計がございます。予算現額5億8,704万2,000円ということで、調定をしました調定額につきましては5億3,840万2,016円、収入済額が5億3,819万3,744円ということで、収入未済額が20万8,272円、予算に対する収入率は91.7%でございます。

これは歳入ですので、それぞれの事業個別に款が分かれてございます。今言いました未済額、約20万でございますが、これにつきましては、13の1の6、教育使用料につきましては、幼稚園、保育園ですとか公民館の使用料の合計で、収入としましては1億4,000万円ほどあるんですが、その中の20万8,000円につきましては、保育料未収金ということでございます。現在は、その後、分割の徴収に努めまして、15万円ほどになってございます。引き続き、分割納付等を行いながら、未収金回収に努めてまいります。

それと、今申しましたように、予算に対して調定の額が91.7%、4,860万円ほど減をしております。その主な理由でございますけれども、右側の収入率というのはほとんど余り変わらないところなんですけれども、その中でも特に14の2の4の教育費国庫補助金は予算現額3億7,500万、収入済額3億4,300万ということで、3,000万円ほどでございます。これについては、工事費でございますので、入札残ですね。入札の執行率、空調関係が多かったですが、85～90%ぐらい落ちておりますので、そういった部分の執行残により減額をしているような形です。同様に15の1の7の県の支出金、これは同じように、学校への太陽光発電ですとか蓄電池の補助の全額受け入れということでご

ざいます。この部分もほとんどが入札残というふうなことで、予定していた収入は確保できたという状況でございます。

おめくりをいただきまして、次のページは歳出の総括表でございます。一番下に合計の額があります。予算現額が47億3,272万9,000円、支出済額が44億676万9,925円ということで、不用額が3億2,595万9,075円、執行率について93.1%ということでございます。

執行率につきましては、教育費も含めた市全体の一般会計の執行率が92.2%ということでございますので、大体、全体の執行率の平均と同様でございます。これは9款ということで全て教育費になってございます。これにつきましても、歳入と同様に、右側に執行率が書いてございます。1の教育総務費につきましては95.5%ということで2,700万円ほど不用額が出ています。それについては、それぞれ職員給与費の部分が1,000万程度、大体不用額が出ますので。それ以外には、教育総務費では、西中の旧校舎の解体工事の残ですとかパサデナの訪問視察を中止にしたという部分が大きいものでございます。

小中に関しましては、小学校ですと90.9%ですが、空調設備の工事の執行残ですとか給食の調理委託、こういったものの委託金の入札額が中学校につきましても同様に、学校建設費という部分のところが大分執行残ありまして、4,800万ほどですけれども、これも空調ですとかそういった部分の執行残でございます。

幼稚園も同様に、幼稚園は、どちらかといいますと、一番上の幼稚園総務費というところで、これは、人事課が所管している職員給与費、そこが1,700万円ほど執行残が残っているということでございます。

社会教育費については、ほとんどそのとおりに使っているような状況でございます。

これが総額の教育費部分でございます。続いて、本日お配りさせていただきました一覧の部分でございます。横長の1ページ目の「歳入」と左上に書いてあるこれは、今、一覧表をお見せしましたその議案の後に、決算附属資料の抜粋でございます。

歳入は、抜粋といいますと、先ほど言いましたように、教育費関係だけで集まってございませぬので、1ページから、ほかの工事も入っていますので、20ページまでが歳入の明細で、21ページから歳出です。9の教育費の細かい予算現額から未済額等入っています。38ページまでです。

39ページからは、教育費だけを抜粋した「主要な施策の成果報告書」というものを決算説明資料として別冊で附属資料ということで出したものですが、その教育費を取り出したものです。39ページから41ページにかけて歳出になりますけれども、主な事業の取り組みが書いてございます。39ページの一番最初には、「学校教育施設の整備」ということで、長寿命化を図るための学校の耐震を図ったということ、国庫補助事業を活用して市内全小中学校普通教室等へ空調設備を整備したということ、そのほか、記載のものは、県の再生可能エネルギー等導入推進基金を活用して太陽光発電ですとか蓄電池の設備を設置した。

2つ目では、小中学校の情報教育設備機器、ICTの絡みになりますけれども、そういった部分のパソコンの更新ですとかタブレット端末の新規購入という部分。

その次が教育課程の研究ということで、研究委託の継続と、学びを高める授業の推進校を3校ほど指定して授業力の向上に努めたというものでは、いじめ・不登校対策ということで、いじめを考える児童生徒委員会で話し合った結果を盛り込んで、秦野市いじめ防止基本方針の策定ですとか、いじめ根絶運動のシンボルマークの作成を行ったということでございます。

特別支援学級の介助員につきましては、介助員を2名増員して、41名を、小学校12校、中学校2校に派遣した。

40ページに行きますと、幼（保）小中一貫教育研究事業ということで、交流授業、合同研修、相互の授業参観、こういったものの、あと、幼小中一貫教育を語り合うつどいの開催ですとか、モデル校での発表、さらに、東海大学の協力のもとに、教科学習支援員として23名の支援を受けるということ。

生涯学習の推進については、報徳サミット真岡市大会、また、「ふれあい通学合宿」、「親と子の音楽会」、「親子川柳大会」、そういったものの実施、市展等の実施で生涯学習の推進を図っている。

文化財保護行政では、銀装圭頭大刀の特別公開、桜土手古墳展示館での特別展、「ミュージアムさくら塾」等の実施、あと、展示館については、今年度は屋上防水工事を実施しました。

公民館については、ここに書いてございますように、自主事業775、そのほか、利用者延べ5万5,389人の参加ということと、通常の貸館利用として50万人を超える方が利用されたということ。

それと、公民館については、公民館の空調の内部改修の工事を

行い、施設整備を図ったということです。

図書館につきましては、魅力ある蔵書の構築ですとか探しやすい絵本の配列ですとか図書館環境の向上に取り組んだということと、郷土の特色ある文学遺産ということで、前田夕暮を紹介した「夕暮のさと」の短歌大会ということ。それから、「短歌のふるさとづくり」に努めた。同様に、空調機器の更新工事を実施したということでございます。

43ページ以降は、一番上の教育委員会運営費、表彰、学校事故見舞金など、一番最後の67ページの(84)の市民大学開催経費まで、これがそれぞれ個別の事業費と財源の内訳、主な内容ということでお示しをして、これを議会に提出するというところでございます。

この後、議会、例年ですと9月の上旬に議会があるわけですがけれども、先ほど、教育長の報告にもございましたように、今年は改選でございます。1週間程度おくれて開会ということで、提出しました議案についても、特別委員会をつくって決算の審査ということになります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

望月委員長

質問ありますでしょうか。

教育総務課長

決算委員会はいつやるんですか。

改選期ですので、改選して新しい議員さんの当選が決まってから議会の日程が決まりますので、今の時点では明確にいつからというようにはなってございません。予定では9月18日ごろに開会するのではないかとというようなことでいろんな予定のほうを組んでいまして、審議については、10月5日ごろから決算特別委員会が開催される想定で、準備のほうは進めています

教育長

多分その辺になるだろうと。

望月委員長

10月5日になるだろうと。

教育長

新しい議員さんが9月11日に選任されますから、集まって議運の委員さんが選ばれて、そこで協議されて決定ということになります。

望月委員長

今年は選挙が30日ですか。ですから、通常は9月上旬から始まるんですけども、市議会が9月18日あたりということのようです。

教育長

任期が10日まで、現任期が。11日に初登庁されますから、そのときに各役職を決められて、日程を協議される。

望月委員長

任期は9月10日まで。

内田委員

さっき聞き逃しちゃったかもしれないんですけど、幼稚園建設費の執行率が61.2%で、節約できたということいいんです

教育総務課長

けれども、何か理由があるのでしょうか。

幼稚園の工事につきまして、810万円ですけれども、予算をとっていました。正確には約500万ということで、300万円ほど余りました。これは、今はこども園になってしまいましたが、つるまきだい幼稚園の放送設備と西幼稚園の放送設備の2つを実施したのですが、両方とも大体400万ぐらいで積算をして実施したのですが、つるまきだいのほうは約300万を工事に使って大体予算のとおりだったのですが、西幼稚園のほうは、設計の段階で100万、その後100万落ちるような形で、最初の予算を立てたときより工事が少し小さい規模の工事で済んだということと、あと、8割程度の入札でしたので、入札残も出たというようなことで、あと、全体のパイが、2つの工事になってしまうものですから、率としては6割というふうな形になっております。

内田委員

節約できたときに、何かほかのものの修繕とかに使うというわけにはいかないわけですね。

教育総務課長

確かに、大体、工事費は、年間3億ぐらいの工事をやります。入札残で大体8割から9割ぐらいになりますので、残がざっくりと3億あれば、3,000万から5,000万ぐらいの執行残が出ます。なるだけ緊急的にやらなきゃいけない部分は積算外ということで上げさせていただいてはいますけれども、3,000万出た中の1割、2割ぐらいがそういう形で使うぐらいで、余ったから使うということとはできない。緊急的なものがあるかとか、なかなか、財政のことですので、難しいです。

内田委員
教育長

わかりました。

今ありましたように、残が出ました、それを使うためには、積算外執行といいまして、財政当局がOKしなければ使えない。それとともに、積算外執行というのは、設計から全部、新たに最初からやり直さなければならない。そうしますと時間的に間に合わないで、どうしても緊急時につかみでやってしまう。以前の学校建設公社の時代でしたらそういうこともできたのですが、一般会計でこういう形の処理なっちゃうと、どうしてもそこが難しくなってしまう。

内田委員
望月委員長

わかりました。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、「議案第21号 平成26年度秦野市一般会計（教育費）決算について」、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

望月委員長

—異議なし—

よって、議案第21号は原案のとおり可決いたしました。

続いて、「議案第22号 秦野市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について」の説明をお願いいたします。

教育指導課長

ご説明します。議案第22号「秦野市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について」でございます。

提案理由といたしましては、さきにつくられました秦野市いじめ問題対策調査委員会及び秦野市いじめ問題再調査会条例に基づきまして、いじめの重大事態の調査を行うとともに、いじめ防止等のための実効的な対策について審議等を行う秦野市いじめ問題対策調査委員会を委員を委嘱するために提案をするものでございます。

1枚おめくりください。委員につきましては、いじめ防止対策推進法、それから国が出した基本方針に従いまして、このとおり5名の方に委嘱するものでございます。学識経験を有する方が2名、弁護士1名、医師、精神科医が1名、心理・福祉に関する専門的な知識を有する方が1名という5名の構成となっております。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

望月委員長

これについて何か質問ありますか。

教育指導課長

東海メンタルクリニックというのどこにあるんですか。

東海大学前駅をおりて、歯科医などが集まっている新しいビルの3階でございます。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、議案第22号「秦野市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について」を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第23号「秦野市図書館協議会委員の委嘱について」の説明をお願いいたします。

図書館長

それでは、議案第23号「秦野市図書館協議会委員の委嘱について」、説明いたします。

提案理由、秦野市図書館協議会委員の任期が平成27年8月23日で満了するに当たり、後任の委員を委嘱するため、秦野市教育委員会教育長に対する事務委任及び臨時代理に関する規則第2条第7号の規定により提案するものであります。

1枚おめくりいただきたいと思います。「秦野市図書館協議会委員候補者名簿」ですが、秦野市図書館協議会委員につきましては、秦野市立図書館条例第4条によりまして、定数は10名以内、選出に当たりましては、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者の中から教育委員会が任命する者となっております。

学校教育関係者に当たりましては、中学校長会、小学校長会、秦野市幼稚園・こども園長会から推薦をいただいております。社会教育関係につきましては、社会教育委員から推薦をいただいております。家庭教育に資する者としては、秦野市子ども会育成連絡協議会の会長の小島様にお願いしております。学識経験者につきましては、東海大学中央図書館の課長の三井様、秦野短歌会副会長の杉山様、ボランティア活動でお願いしております「おはなしころりん」役員の斎藤様にお願いしております。

よろしくご審議をお願いいたします。

望月委員長

何か質問ありますか。

よろしいですか。

—特になし—

望月委員長

それでは、議案第23号「秦野市図書館協議会委員の委嘱について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

それでは、次に「その他」の案件ございますか。

教育指導課長

秦野市に在住の田村さんを初め、3名連名で、望月委員長、高橋委員、内田委員に宛て、「今回の中学校歴史教科書採択に関する質問状」が昨日届きました。

お読みいただきまして、内容につきましては、今後、事務局のほうで検討・協議していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

望月委員長

これについて、ご質問、ご意見ございますか。

教育長

今回の場合には、委員長を含めて3名の委員さんだけという形で特定されて出されていますが、教育委員会全体の問題として、必要があれば、個別の回答ではなくて、全体として回答するというにしたいと思いますので、内部で詰めてまた報告をさせていただきます。

望月委員長

それでは、よろしく申し上げます。

生涯学習課長

そのほかの案件ございますか。

お手元に、「—はだの史・発見展—戦争の記憶」についての資料を配付いたしました。前回に開催についてご案内しましたけれ

望月委員長

ども、今月30日まで開催しています。戦後70年という節目の年ということもあるのかもしれませんが、今まで、9日間で約1,000人が来場しています。団体での見学も幾つかありますが、明日発行の「タウンニュース」にも大きく記事が取り上げられる予定ですので、今後、多くの来場者が訪れることを期待しています。

いかがでしょうか。

—特になし—

望月委員長

では、時間を見つけて委員さんも。これは桜土手古墳展示館ですね。

生涯学習課

はい。

望月委員長

よろしくどうぞお願いします。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、秘密会の前に次回の日程調整をお願いします。

—次回の日程調整—

望月委員長

それでは、秘密会としますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

以上で8月の定例教育委員会会議は終わります。